

行政視察報告書

中核市移行特別委員会行政視察		令和元年8月28日(水)～29日(木)
視察先 及び 視察事項	・令和元年8月28日(水)	1 中核市移行について
	山形県山形市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）
		（ア） 設置の概要
		（イ） 既存施設（保健センター等）との一元化の対応と今後の課題
		（ウ） 関係団体との調整・対応
		（エ） 市保健所の将来像
		（オ） 食肉衛生検査施設設置の概要と課題
	・令和元年8月29日(木)	1 中核市移行について
	埼玉県川口市	ア 中核市移行の経緯（議会の対応含む）
		（ア） 中核市移行の目的、メリット
		（イ） 移行に伴う組織、推進体制、施設並びに専門職員の確保、育成
		（ウ） 県との協議・調整・連携における課題
		（エ） 移行に伴う経費と財源措置の精査
		（オ） 市民への周知、説明に対する課題と対応（合意形成）
		イ 市の特徴的な施策について
		ウ 保健所関連施設の設置について（保健所現地視察含む）

	(ア) 設置の概要
	(イ) 県保健所併設における課題と対応
	(ロ) 保健センターとの一体的な業務提供と
	今後の課題
	(エ) 関係団体との調整・対応
	(オ) 市保健所の将来像

山形市 中核市 平成 31 年 4 月移行
健康医療先進都市

1 目的

市民福祉の向上
魅力あるまちづくり
圏域のリーダー的役割

2 効果

保健衛生業務のパワーアップ
市民サービスのレベルアップ
都市のイメージアップ
事務手続きのスピードアップ
行政の透明性のアップ

3 所管

松本市がある程度の業務をこなすことになるがそれだけの決定権がある事はスピード感がある対応が目指せると思う。

長野県の第 2 の都市として引っ張るには中核市移行は進めてほしい。

健康医療先進都市を掲げて中核市を公約に当選された市長が健康と中核市をうまく取り組み保健所設置等の理解を得られたのではないかと考える。

健康寿命を延伸する施策として S U K S K（食事・運動・休養・社会・禁煙）を強く打ち出したとの事なので健康寿命延伸都市としてマッチするのではないかと考える。

県との協議がスムーズではないような話があったが松本市はその点については松本市も安心ではないと考える。

人材育成は現時点から 10 年後位を見据えて獣医師等の確保をされたい。

川口市 中核市 平成 30 年 4 月移行

1 目的

県からの権限移譲により市が自ら判断できる権限を拡大し市民への質の高いサービス

スの提供や市の実情にあったまちづくりが可能となります

2 効果

行政サービスのスピードアップ

きめ細やかな行政サービスの提供

市独自の取組み

3 所感

副市長 2 人体制のもと一人は総務系の元官僚で事業に当たったそうです。

川口市も中核市が市長公約としてあったが県議会議員を経験されていて流れや関係性が構築されていたのではと推測する。

「中核市」というより市民サービスをしっかり丁寧に説明するのが優先と思った。

中核市移行を市の補助金を活用しての市民周知をされたが効果はどうか。

設置する以上松本らしい保健所機能の強化は考えていかないといけない。

保健所の具体的な考え方を早めに打ち出していく事が大事ではないか

令和元年 9 月 20 日

松本市議会議長 村上 幸雄 様

中核市移行特別委員 若 林 真 一